



4年生 福島の伝統文化を体験する！

4年生は、社会科や総合の時間において福島県の特長について学んでいます。9月には、土湯こけし作りを体験して、福島市の伝統的工芸品を学んだ4年生が、昨日は郡山市高柴デコ屋敷の橋本先生をお招きして張子の絵付け体験をしました。子どもたちは、来年の干支の牛や自分の干支のトラやウサギ、自分が好きな馬、家族の干支と、自分で思いを込めて作りたい干支を選んで絵付けをしました。早速、家に持ち帰り、家族に体



験したことを伝えました。これからも、様々な体験を通して福島のよさを実感していくものと思います。

<熱心に張子製作に取り組む4年生>

また、国語科の「くらしの中の和と洋」の学習で、ご飯とパン、布団とベットなど自分の興味・関心に応じた和と洋の対比から説明文を完成させるなど、表現力も付いてきました。

来週は福島教育週間です。2日と4日、各学年の授業をご覧いただき、子どもたちの頑張りを認め励まし家庭での生活や学習にいかしてほしいと思います。



<「くらしの中の和と洋」をみつめて冊子に仕上げました>

○5年生、外部講師を活用して エフロン製作を頑張っています。

本日も地域本部事業を活用して浅野先生にミシン縫いを教えていただきました。着々とステキな作品に仕上がっています。完成が楽しみです。

※ 地域コミュニティー事業の記事が新聞に掲載されました。裏面をご覧ください。



<熱心に指導する浅野先生としっかり取り組む5年生>